

「クレジットカード取引の安心・安全に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 クレジットカード取引の安心・安全に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) クレジットカードの利用意向
(2) クレジットカードの安心・安全な利用
(3) クレジットカードの安心・安全な利用のために力を入れてほしいこと
- 3 関係省庁 経済産業省
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国18歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000人
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成28年7月21日～7月31日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,815人 (60.5%)
(2) 調査不能数(率) 1,185人 (39.5%)
－不能内訳－
転居 122 長期不在 95 一時不在 445
住所不明 25 拒否 431 被災 4
その他 63
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率
			%				%				%
18～19歳	66	32	48.5	18～19歳	34	18	52.9	18～19歳	32	14	43.8
男 20～29歳	320	142	44.4	男 20～29歳	167	73	43.7	女 20～29歳	153	69	45.1
30～39歳	386	219	56.7	30～39歳	190	96	50.5	30～39歳	196	123	62.8
女 40～49歳	526	289	54.9	40～49歳	274	138	50.4	40～49歳	252	151	59.9
50～59歳	440	283	64.3	50～59歳	231	128	55.4	50～59歳	209	155	74.2
計 60～69歳	557	398	71.5	性 60～69歳	268	179	66.8	性 60～69歳	289	219	75.8
70歳以上	705	452	64.1	70歳以上	317	209	65.9	70歳以上	388	243	62.6
計	3,000	1,815	60.5	計	1,481	841	56.8	計	1,519	974	64.1

調査結果の概要

1 クレジットカードの利用意向

(1) クレジットカードを積極的に利用したいと思うか

クレジットカードを積極的に利用したいと思うか聞いたところ、「そう思う」とする者の割合が39.8%（「そう思う」20.3%+「どちらかといえばそう思う」19.5%）、「そう思わない」とする者の割合が57.9%（「どちらかといえばそう思わない」24.0%+「そう思わない」33.8%）となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「そう思う」とする者の割合は30歳代から50歳代で、「そう思わない」とする者の割合は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。（図1、表1）

図1 クレジットカードを積極的に利用したいと思うか

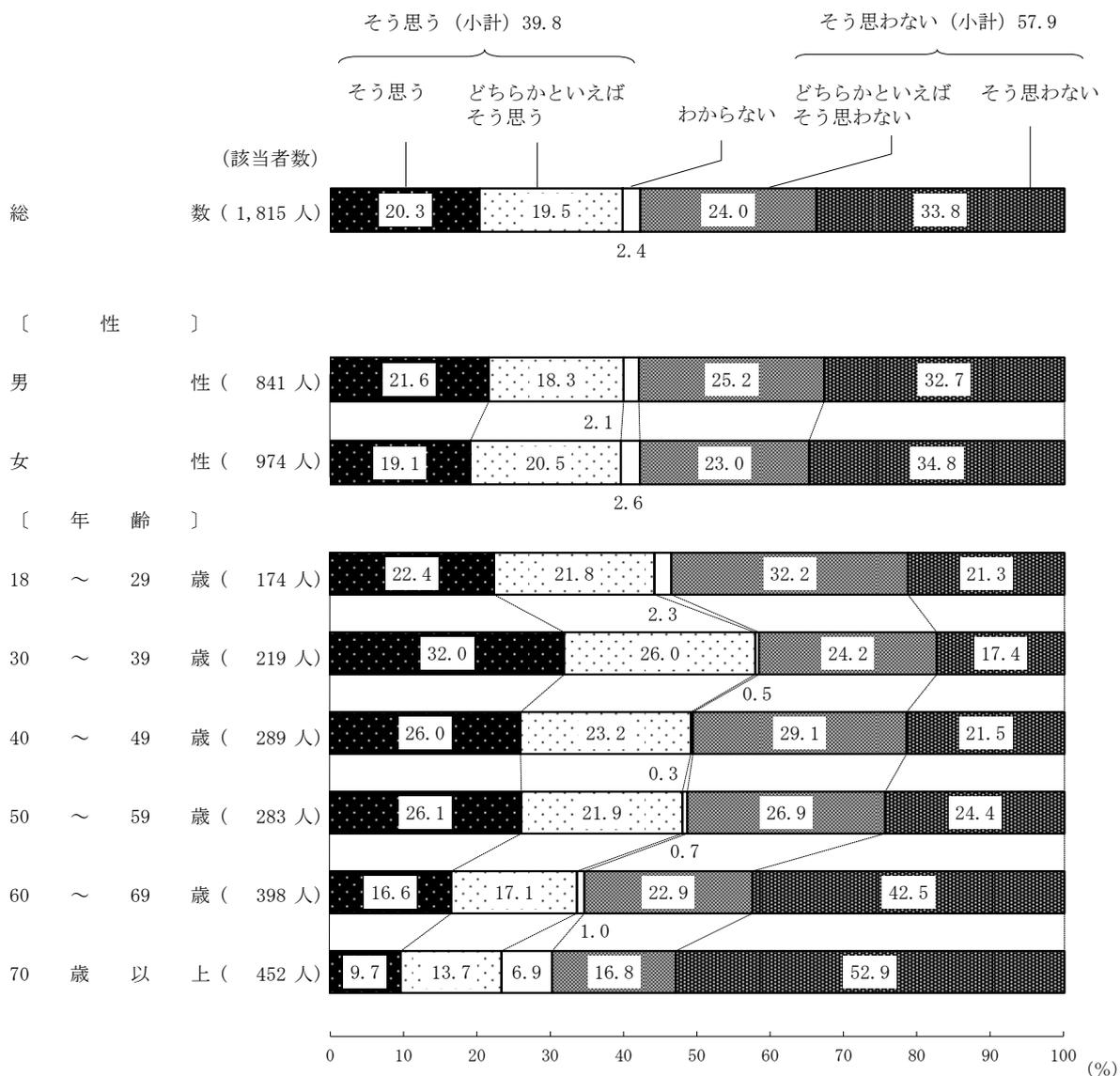


表1 クレジットカードを積極的に利用したいと思うか

	該 当 者 数	そ う (思 小計 う)			そ う 思 わ (小計 い)			わ か ら な い
		人	%	%	%	%	%	
総数	1,815	39.8	20.3	19.5	57.9	24.0	33.8	2.4
〔都市規模〕								
大都市	484	45.9	23.8	22.1	52.1	23.1	28.9	2.1
東京都	100	41.0	19.0	22.0	56.0	21.0	35.0	3.0
政令指定都市	384	47.1	25.0	22.1	51.0	23.7	27.3	1.8
中都市	722	41.7	20.9	20.8	56.5	25.8	30.7	1.8
小都市	433	32.1	17.3	14.8	64.0	23.6	40.4	3.9
町	176	34.1	15.3	18.8	64.2	20.5	43.8	1.7
〔性〕								
男性	841	40.0	21.6	18.3	57.9	25.2	32.7	2.1
女性	974	39.6	19.1	20.5	57.8	23.0	34.8	2.6
〔年齢〕								
18～29歳	174	44.3	22.4	21.8	53.4	32.2	21.3	2.3
30～39歳	219	58.0	32.0	26.0	41.6	24.2	17.4	0.5
40～49歳	289	49.1	26.0	23.2	50.5	29.1	21.5	0.3
50～59歳	283	48.1	26.1	21.9	51.2	26.9	24.4	0.7
60～69歳	398	33.7	16.6	17.1	65.3	22.9	42.5	1.0
70歳以上	452	23.5	9.7	13.7	69.7	16.8	52.9	6.9
〔従業上の地位〕								
雇用者	851	48.9	26.8	22.1	50.2	26.3	23.9	0.9
自営業主	160	33.1	21.9	11.3	65.0	24.4	40.6	1.9
家族従業者	35	34.3	17.1	17.1	62.9	20.0	42.9	2.9
無職	769	31.3	12.9	18.5	64.6	21.6	43.0	4.0
主婦	402	33.6	14.7	18.9	64.7	22.9	41.8	1.7
主夫	17	41.2	29.4	11.8	58.8	23.5	35.3	-
学生	52	46.2	17.3	28.8	50.0	28.8	21.2	3.8
その他の無職	298	25.2	8.7	16.4	67.4	18.5	49.0	7.4
〔職業〕								
管理・専門技術・事務職	442	56.3	31.0	25.3	43.2	23.3	19.9	0.5
管理職	47	55.3	29.8	25.5	44.7	25.5	19.1	-
専門・技術職	169	53.3	30.2	23.1	46.2	24.3	21.9	0.6
事務職	226	58.8	31.9	27.0	40.7	22.1	18.6	0.4
販売・サービス・保安職	296	47.3	27.0	20.3	51.7	24.0	27.7	1.0
農林漁業職	51	23.5	11.8	11.8	74.5	23.5	51.0	2.0
生産・輸送・建設・労務職	257	31.1	17.9	13.2	66.5	32.7	33.9	2.3

ア クレジットカードを利用したい場面

クレジットカードを積極的に利用したいと思うかについて、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた者（722人）に、クレジットカードをどのような場面で利用したいと思うか聞いたところ、「店舗での高額な買い物やサービスの利用」を挙げた者の割合が72.6%と最も高く、以下、「公共料金や税金、通信料金などのサービスの月々の支払い」（62.9%）、「インターネットを利用した買い物やサービスの利用」（58.2%）、「臨時の出費や手持ちの現金が不足している場合」（36.1%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

性別に見ると、「店舗での高額な買い物やサービスの利用」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。（図2、表2）

図2 クレジットカードを利用したい場面

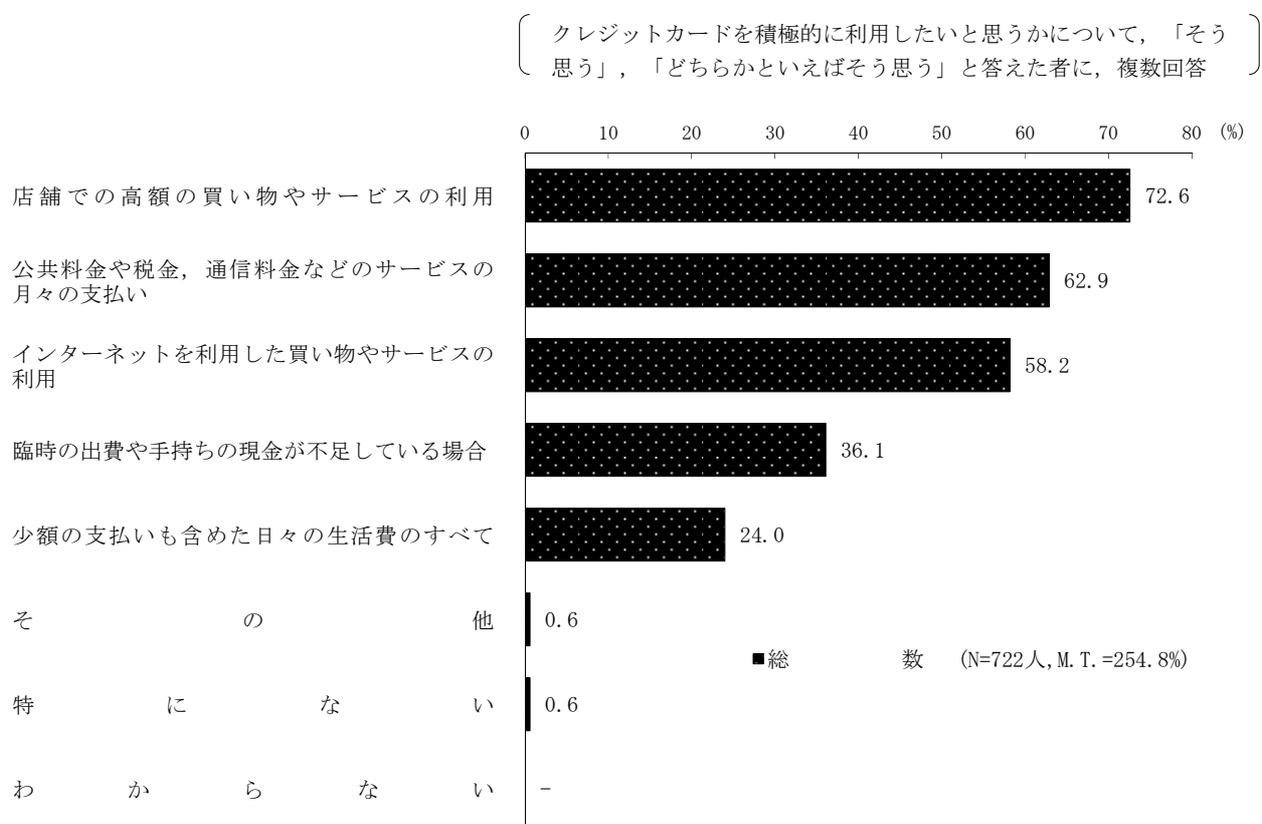


表2 クレジットカードを利用したい場面

〔クレジットカードを積極的に利用したいと思うかについて、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	サ ー ビ ス の 高 額 の 買 い 物 や	払 い の 料 金 や サ ー ビ ス の 月 々 の 支 払 い	公 共 の 料 金 や 税 金 、 通 信 料 支 金	買 い 物 や サ ー ビ ス の 利 用 し た	が 臨 時 の 出 費 や 手 持 ち の 現 金	の 少 額 の 支 払 い も 含 め た 日 々	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	722	72.6	62.9	58.2	36.1	24.0	0.6	0.6	-	-	254.8
〔都市規模〕											
大都市	222	72.1	62.6	61.3	35.1	22.1	0.9	-	-	-	254.1
東京都区部	41	75.6	63.4	56.1	36.6	14.6	-	-	-	-	246.3
政令指定都市	181	71.3	62.4	62.4	34.8	23.8	1.1	-	-	-	255.8
中都市	301	76.1	63.5	60.8	38.9	26.9	0.3	0.7	-	-	267.1
小都市	139	69.1	59.7	48.9	30.2	25.9	-	1.4	-	-	235.3
町	60	65.0	68.3	55.0	40.0	11.7	1.7	-	-	-	241.7
〔性〕											
男性	336	66.1	64.6	55.7	36.9	25.3	0.9	0.3	-	-	249.7
女性	386	78.2	61.4	60.4	35.5	22.8	0.3	0.8	-	-	259.3
〔年齢〕											
18～29歳	77	59.7	45.5	75.3	39.0	16.9	-	-	-	-	236.4
30～39歳	127	73.2	74.8	77.2	37.0	28.3	-	0.8	-	-	291.3
40～49歳	142	85.9	71.8	69.7	39.4	27.5	0.7	-	-	-	295.1
50～59歳	136	75.0	64.0	68.4	35.3	22.8	0.7	-	-	-	266.2
60～69歳	134	66.4	59.0	35.8	38.8	23.1	0.7	1.5	-	-	225.4
70歳以上	106	67.9	52.8	22.6	26.4	21.7	0.9	0.9	-	-	193.4
〔従業上の地位〕											
雇用者	416	73.6	67.8	65.9	38.5	25.0	0.2	0.5	-	-	271.4
自営業	53	79.2	60.4	58.5	26.4	20.8	3.8	-	-	-	249.1
家族従業者	12	75.0	66.7	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	266.7
無職	241	69.3	54.8	45.2	33.6	22.8	0.4	0.8	-	-	227.0
主婦	135	78.5	55.6	44.4	31.9	26.7	-	1.5	-	-	238.5
主夫	7	28.6	57.1	57.1	28.6	42.9	-	-	-	-	214.3
学生	24	66.7	33.3	83.3	25.0	4.2	-	-	-	-	212.5
その他の無職	75	57.3	60.0	33.3	40.0	20.0	1.3	-	-	-	212.0
〔職業〕											
管理・専門技術・事務職	249	75.5	69.1	71.5	35.7	21.7	0.4	0.4	-	-	274.3
管理職	26	73.1	61.5	53.8	30.8	23.1	-	3.8	-	-	246.2
専門・技術職	90	74.4	68.9	75.6	38.9	26.7	-	-	-	-	284.4
事務職	133	76.7	70.7	72.2	34.6	18.0	0.8	-	-	-	272.9
販売・サービス・保安職	140	74.3	67.1	62.9	40.7	30.0	0.7	0.7	-	-	276.4
農林漁業職	12	100.0	66.7	33.3	25.0	25.0	-	-	-	-	250.0
生産・輸送・建設・労務職	80	66.3	60.0	51.3	38.8	23.8	1.3	-	-	-	241.3

イ クレジットカードを積極的に利用したいと思わない理由

クレジットカードを積極的に利用したいと思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者(1,050人)に、クレジットカードを積極的に利用したいと思わない理由を聞いたところ、「日々の生活においてクレジットカードがなくても不便を感じないから」を挙げた者の割合が55.4%と最も高く、以下、「クレジットカードの紛失・盗難により、第三者に使用されるおそれがあるから」(41.3%)、「個人情報などがクレジットカード会社や利用した店舗などから漏えいし、不正利用されてしまう懸念があるから」(35.4%)、「予算以上の買い物をしてしまうから」(33.7%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

都市規模別に見ると、「クレジットカードの紛失・盗難により、第三者に使用されるおそれがあるから」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「予算以上の買い物をしてしまうから」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。(図3、表3)

図3 クレジットカードを積極的に利用したいと思わない理由

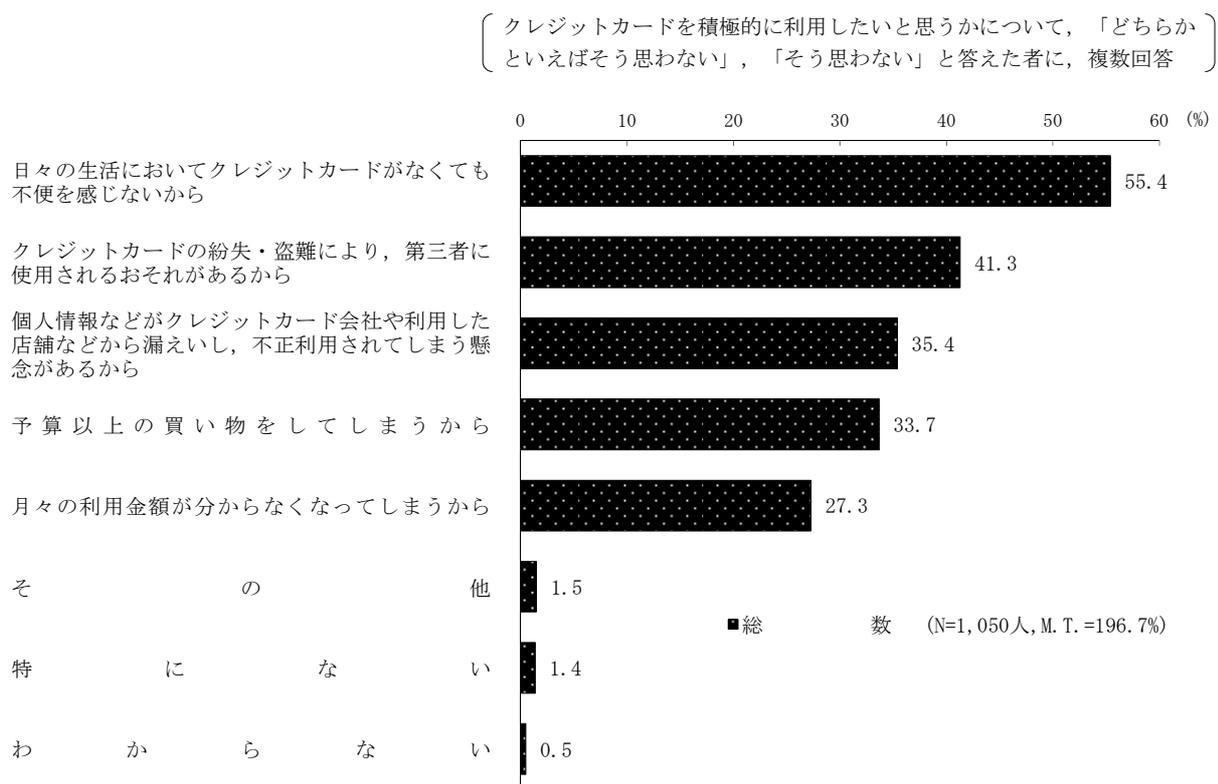


表3 クレジットカードを積極的に利用したいと思わない理由

〔クレジットカードを積極的に利用したいと思うかについて、「どちらか」といえばそう思わない, 「そう思わない」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	日 々 の 生 活 に お い て ク レ ジ ッ ト カ ー ド が な く て も 不 便 を 感 じ な い か ら	ク レ ジ ッ ト カ ー ド の 紛 失 ・ 盗 難 に よ り 、 第 三 者 に 使 用 さ れ る お そ れ が あ る よ う な こ ろ	個 人 情 報 な ど が ク レ ジ ッ ト カ ー ド に 漏 れ て い る こ ろ	予 算 以 上 の 買 い 物 を し て し ま う こ ろ	月 々 の 利 用 金 額 が 分 か ら な く な っ て し ま う こ ろ	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.) %
総数	1,050	55.4	41.3	35.4	33.7	27.3	1.5	1.4	0.5	196.7
〔都市規模〕										
大都市	252	50.8	48.4	36.5	34.5	25.4	1.2	0.8	0.4	198.0
東京都	56	57.1	44.6	35.7	41.1	28.6	3.6	1.8	-	212.5
政令指定都市	196	49.0	49.5	36.7	32.7	24.5	0.5	0.5	0.5	193.9
中都市	408	58.1	38.7	37.0	35.8	29.7	1.0	0.7	0.5	201.5
小都市	277	53.8	40.1	33.6	30.7	25.6	1.8	2.9	0.7	189.2
町	113	60.2	38.1	31.9	31.9	27.4	3.5	1.8	-	194.7
〔性〕										
男性	487	55.0	41.3	36.3	30.0	28.7	0.8	1.0	0.4	193.6
女性	563	55.8	41.4	34.6	36.9	26.1	2.1	1.8	0.5	199.3
〔年齢〕										
18～29歳	93	45.2	46.2	32.3	53.8	53.8	-	-	-	231.2
30～39歳	91	40.7	49.5	41.8	42.9	37.4	-	-	-	212.1
40～49歳	146	42.5	45.9	52.7	45.2	32.2	-	-	0.7	219.2
50～59歳	145	55.2	49.0	45.5	33.8	34.5	0.7	-	-	218.6
60～69歳	260	57.7	40.8	37.7	35.0	23.5	1.5	1.2	0.4	197.7
70歳以上	315	67.0	32.4	20.0	18.7	14.3	3.5	3.8	1.0	160.6
〔従業上の地位〕										
雇用者	427	48.0	45.9	42.9	41.7	33.7	-	0.5	0.2	212.9
自営業	104	54.8	37.5	31.7	35.6	26.9	1.9	1.9	1.0	191.3
家族従業者	22	77.3	31.8	31.8	13.6	9.1	-	4.5	-	168.2
無職	497	61.0	38.6	30.0	27.4	22.7	2.8	2.0	0.6	185.1
主婦	260	59.6	39.6	30.8	33.8	21.2	2.7	0.8	1.2	189.6
主夫	10	60.0	40.0	40.0	10.0	-	-	-	-	150.0
学生	26	34.6	65.4	42.3	42.3	42.3	-	-	-	226.9
その他の無職	201	66.2	33.8	26.9	17.9	23.4	3.5	4.0	-	175.6
〔職業〕										
管理・専門技術・事務職	191	46.6	52.4	53.9	39.3	35.1	-	0.5	1.0	228.8
管理職	21	52.4	47.6	66.7	19.0	28.6	-	-	-	214.3
専門・技術職	78	48.7	56.4	48.7	46.2	32.1	-	-	1.3	233.3
事務職	92	43.5	50.0	55.4	38.0	39.1	-	1.1	1.1	228.3
販売・サービス・保安職	153	45.8	39.9	37.3	46.4	36.6	0.7	-	-	206.5
農林漁業職	38	71.1	44.7	36.8	18.4	15.8	2.6	-	-	189.5
生産・輸送・建設・労務職	171	54.4	37.4	28.7	38.0	26.3	-	2.3	-	187.1

2 クレジットカードの安心・安全な利用

(1) ICカード決済や暗証番号の入力が安全であることの認知度

クレジットカードについて、磁気カード決済よりICカード決済の方が安全であることや、暗証番号の入力が安全であることを知っていたか聞いたところ、「いずれも知っていた」と答えた者の割合が37.2%、「ICカード決済がより安全であることは知っていたが、暗証番号の入力が安全であることは知らなかった」と答えた者の割合が8.3%、「ICカード決済がより安全であることは知らなかったが、暗証番号の入力が安全であることは知っていた」と答えた者の割合が7.2%、「いずれも知らなかった」と答えた者の割合が44.5%となっている。

性別に見ると、「いずれも知っていた」と答えた者の割合は男性で、「いずれも知らなかった」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「いずれも知っていた」と答えた者の割合は30歳代、50歳代で、「いずれも知らなかった」と答えた者の割合は70歳以上で、それぞれ高くなっている。（図4、表4）

図4 ICカード決済や暗証番号の入力が安全であることの認知度

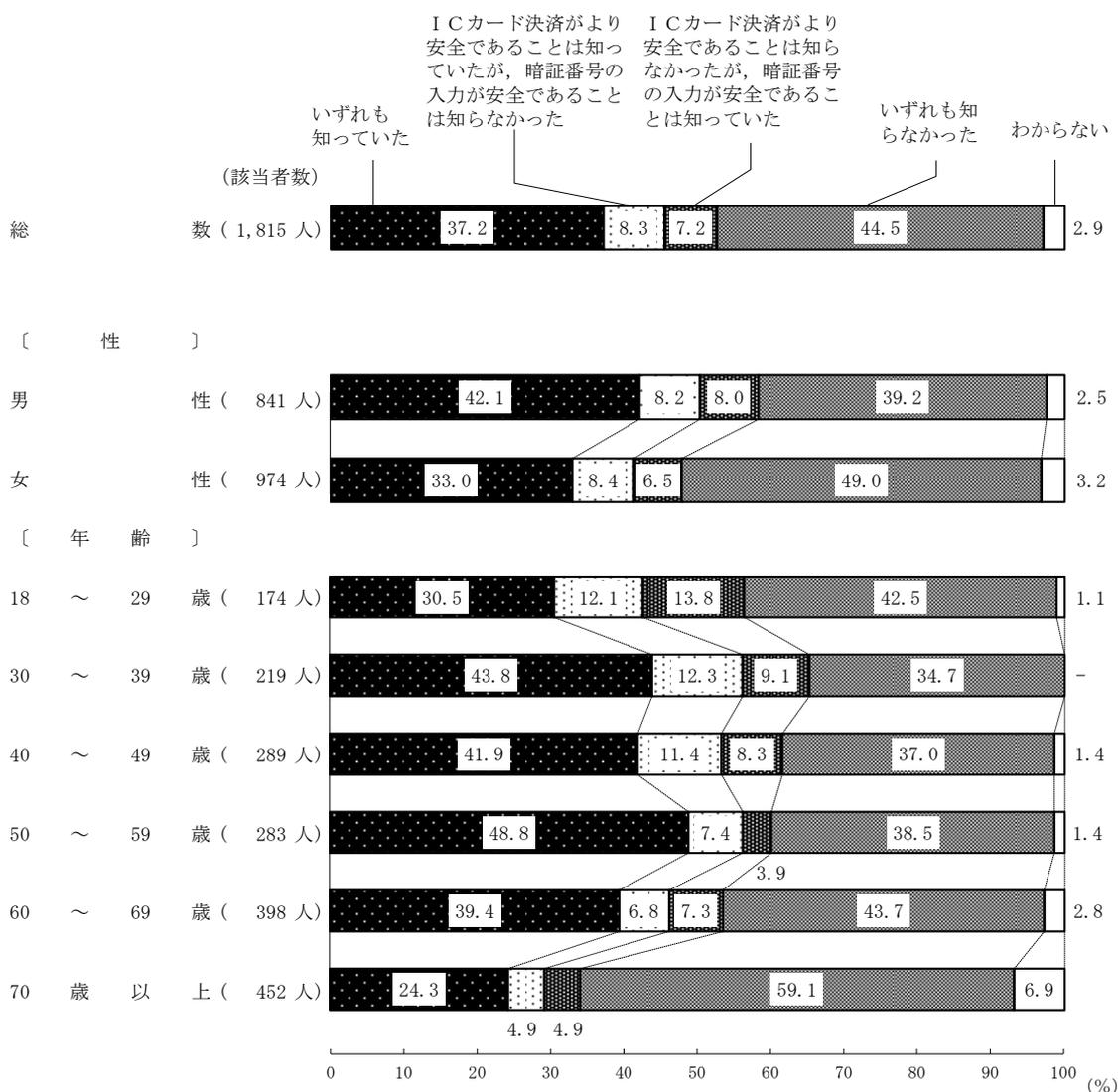


表4 ICカード決済や暗証番号の入力が安全であることの認知度

	該 当 者 数	い ず れ も 知 っ て い た	で あ る こ と は 知 ら な か つ た	で あ る こ と は 知 っ て い た	で あ る こ と は 知 ら な か つ た	い ず れ も 知 ら な か つ た	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,815	37.2	8.3	7.2	44.5	2.9	
〔都市規模〕							
大都市	484	37.6	9.7	7.2	44.0	1.4	
東京都区部	100	39.0	9.0	7.0	44.0	1.0	
政令指定都市	384	37.2	9.9	7.3	44.0	1.6	
中都市	722	36.1	8.4	8.0	44.7	2.6	
小都市	433	40.0	6.9	5.8	43.2	4.2	
町村	176	33.5	7.4	6.8	47.7	4.5	
〔性〕							
男性	841	42.1	8.2	8.0	39.2	2.5	
女性	974	33.0	8.4	6.5	49.0	3.2	
〔年齢〕							
18～29歳	174	30.5	12.1	13.8	42.5	1.1	
30～39歳	219	43.8	12.3	9.1	34.7	-	
40～49歳	289	41.9	11.4	8.3	37.0	1.4	
50～59歳	283	48.8	7.4	3.9	38.5	1.4	
60～69歳	398	39.4	6.8	7.3	43.7	2.8	
70歳以上	452	24.3	4.9	4.9	59.1	6.9	
〔従業上の地位〕							
雇用者	851	41.7	10.0	8.5	38.3	1.5	
自営業主	160	43.8	7.5	6.3	37.5	5.0	
家族従業者	35	31.4	5.7	5.7	51.4	5.7	
無職	769	31.1	6.8	6.0	52.4	3.8	
主婦	402	29.9	7.0	5.5	54.7	3.0	
主夫	17	58.8	-	5.9	35.3	-	
学生	52	30.8	7.7	17.3	44.2	-	
その他の無職	298	31.2	6.7	4.7	51.7	5.7	
〔職業〕							
管理・専門技術・事務職	442	47.3	10.9	7.5	33.7	0.7	
管理職	47	59.6	10.6	4.3	25.5	-	
専門・技術職	169	47.9	10.7	7.7	32.5	1.2	
事務職	226	44.2	11.1	8.0	36.3	0.4	
販売・サービス・保安職	296	44.3	7.1	9.5	36.8	2.4	
農林漁業職	51	31.4	7.8	5.9	45.1	9.8	
生産・輸送・建設・労務職	257	31.1	10.1	7.8	47.9	3.1	

(2) インターネットで買い物をする際に個人用IDやパスワードを入力する方法の認知度

インターネットで買い物をする際のセキュリティ対策として、個人用IDやパスワードを入力する方法があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」と答えた者の割合が59.4%、「知らなかった」と答えた者の割合が35.2%となっている。

性別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は男性で、「知らなかった」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「知っていた」と答えた者の割合は18～29歳から50歳代で、「知らなかった」と答えた者の割合は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。（図5，表5）

図5 インターネットで買い物をする際に個人用IDやパスワードを入力する方法の認知度

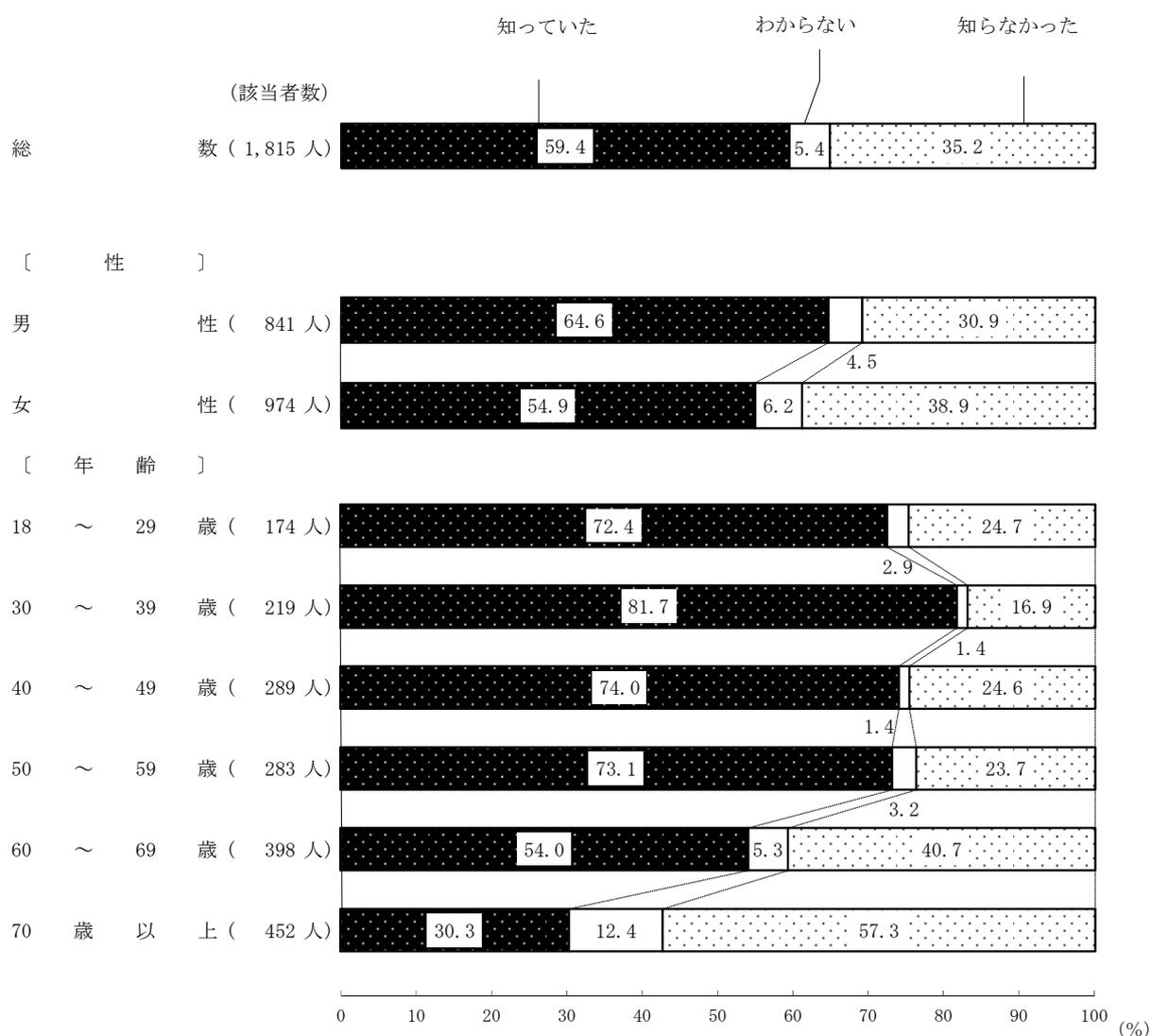


表5 インターネットでの買い物をする際に個人用IDやパスワードを入力する方法の認知度

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	わ か ら な い
	人	%	%	%
総数	1,815	59.4	35.2	5.4
〔都市規模〕				
大都市	484	59.9	35.5	4.5
東京都区部	100	59.0	39.0	2.0
政令指定都市	384	60.2	34.6	5.2
中都市	722	61.9	32.8	5.3
小都市	433	56.8	38.3	4.8
町	176	54.0	36.4	9.7
〔性〕				
男性	841	64.6	30.9	4.5
女性	974	54.9	38.9	6.2
〔年齢〕				
18～29歳	174	72.4	24.7	2.9
30～39歳	219	81.7	16.9	1.4
40～49歳	289	74.0	24.6	1.4
50～59歳	283	73.1	23.7	3.2
60～69歳	398	54.0	40.7	5.3
70歳以上	452	30.3	57.3	12.4
〔従業上の地位〕				
雇用者	851	72.0	24.6	3.4
自営業主	160	61.3	35.0	3.8
家族従業者	35	45.7	45.7	8.6
無職	769	45.6	46.6	7.8
主婦	402	47.5	46.8	5.7
主夫	17	52.9	47.1	-
学生	52	65.4	30.8	3.8
その他の無職	298	39.3	49.0	11.7
〔職業〕				
管理・専門技術・事務職	442	76.0	20.8	3.2
管理職	47	78.7	19.1	2.1
専門・技術職	169	75.1	22.5	2.4
事務職	226	76.1	19.9	4.0
販売・サービス・保安職	296	73.0	24.3	2.7
農林漁業職	51	29.4	60.8	9.8
生産・輸送・建設・労務職	257	62.3	33.5	4.3

(3) 個人用IDやパスワードの入力を求められた場合の対応

インターネットで買い物をする際に、クレジットカード番号や有効期限の入力に加えて、個人用IDやパスワードの入力を求められた場合、どのように対応すると思うか聞いたところ、「セキュリティ対策のため必要な入力であるため、入力する」と答えた者の割合が25.8%、「面倒に感じるが、入力する」と答えた者の割合が16.0%、「面倒なので、入力不要なお店で買い物をする」と答えた者の割合が2.7%、「クレジットカード以外の支払方法を選んで買い物をする」と答えた者の割合が10.4%、「インターネットで買い物をしない」と答えた者の割合が35.9%となっている。

都市規模別に見ると、「セキュリティ対策のため必要な入力であるため、入力する」と答えた者の割合は中都市で、「クレジットカード以外の支払方法を選んで買い物をする」と答えた者の割合は大都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「セキュリティ対策のため必要な入力であるため、入力する」と答えた者の割合は男性で、「インターネットで買い物をしない」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「セキュリティ対策のため必要な入力であるため、入力する」と答えた者の割合は18～29歳から50歳代で、「面倒に感じるが、入力する」と答えた者の割合は18～29歳から40歳代で、「クレジットカード以外の支払方法を選んで買い物をする」と答えた者の割合は50歳代で、「インターネットで買い物をしない」と答えた者の割合は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっている。

(図6, 表6)

図6 個人用IDやパスワードの入力を求められた場合の対応

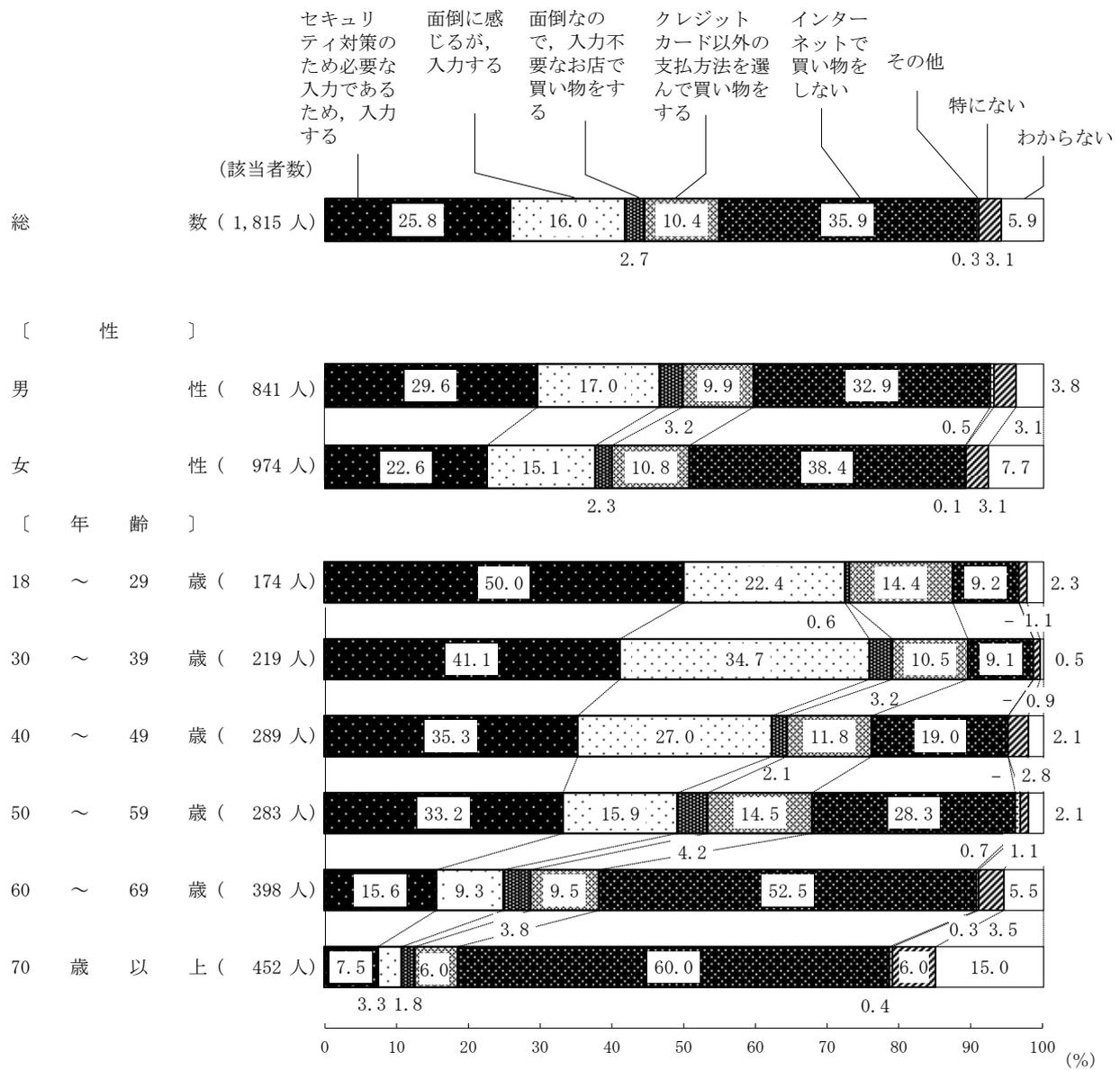


表6 個人用IDやパスワードの入力を求められた場合の対応

	該 当 者 数	必要なセキュリティ対策のため、入力必須	面倒に感じるが、入力する	面倒なので、入力不要なお店で買い物をする	クレジットカード以外での支払い方法を選んで買い物をする	インターネットで買い物をしない	その他	特 に な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,815	25.8	16.0	2.7	10.4	35.9	0.3	3.1	5.9
〔都市規模〕									
大都市	484	27.5	15.7	2.9	13.8	34.1	0.2	1.9	3.9
東京都	100	28.0	12.0	3.0	15.0	35.0	1.0	3.0	3.0
政令指定都市	384	27.3	16.7	2.9	13.5	33.9	-	1.6	4.2
中都市	722	28.8	16.9	2.1	9.0	35.2	-	3.2	4.8
小都市	433	20.6	16.2	3.0	10.2	37.2	0.2	4.8	7.9
町	176	22.2	12.5	4.0	6.8	40.3	1.7	1.7	10.8
〔性〕									
男性	841	29.6	17.0	3.2	9.9	32.9	0.5	3.1	3.8
女性	974	22.6	15.1	2.3	10.8	38.4	0.1	3.1	7.7
〔年齢〕									
18～29歳	174	50.0	22.4	0.6	14.4	9.2	-	1.1	2.3
30～39歳	219	41.1	34.7	3.2	10.5	9.1	-	0.9	0.5
40～49歳	289	35.3	27.0	2.1	11.8	19.0	-	2.8	2.1
50～59歳	283	33.2	15.9	4.2	14.5	28.3	0.7	1.1	2.1
60～69歳	398	15.6	9.3	3.8	9.5	52.5	0.3	3.5	5.5
70歳以上	452	7.5	3.3	1.8	6.0	60.0	0.4	6.0	15.0
〔従業上の地位〕									
雇用者	851	35.1	22.3	3.2	11.2	23.5	0.2	1.8	2.7
自営業	160	20.0	18.8	3.8	7.5	38.1	0.6	5.0	6.3
家族従業者	35	20.0	8.6	2.9	8.6	51.4	-	-	8.6
無職	769	17.0	8.7	2.0	10.1	48.4	0.3	4.3	9.2
主婦	402	13.2	10.7	1.7	10.7	51.7	0.2	3.2	8.5
主夫	17	17.6	17.6	5.9	5.9	52.9	-	-	-
学生	52	53.8	15.4	-	15.4	9.6	-	-	5.8
その他の無職	298	15.8	4.4	2.3	8.7	50.3	0.3	6.7	11.4
〔職業〕									
管理・専門技術・事務職	442	41.4	23.5	2.9	10.6	18.1	-	1.8	1.6
管理職	47	51.1	8.5	2.1	12.8	19.1	-	2.1	4.3
専門・技術職	169	37.9	24.3	3.0	11.2	20.7	-	1.8	1.2
事務職	226	42.0	26.1	3.1	9.7	15.9	-	1.8	1.3
販売・サービス・保安職	296	30.7	21.6	3.4	11.5	28.7	0.3	0.7	3.0
農林漁業職	51	9.8	9.8	5.9	2.0	52.9	-	5.9	13.7
生産・輸送・建設・労務職	257	23.0	19.5	3.1	10.9	33.9	0.8	3.9	5.1

3 クレジットカードの安心・安全な利用のために力を入れてほしいこと

(1) クレジットカードの安心・安全な利用のために力を入れてほしいこと

クレジットカードの安心・安全な利用のために、政府に今後どのようなことに力を入れてほしいと思うか聞いたところ、「クレジットカードの不正使用に関する取締りの強化」を挙げた者の割合が57.4%と最も高く、以下、「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の規制にかかる法整備（クレジットカード情報保護、不正使用対策の強化など）」（52.3%）、「クレジットカードの不正使用に関する相談窓口の充実」（30.2%）などの順となっている。なお、「特にない」と答えた者の割合が10.9%となっている。（複数回答，上位3項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「クレジットカードの不正使用に関する取締りの強化」を挙げた者の割合は18～29歳から50歳代で、「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の規制にかかる法整備（クレジットカード情報保護、不正使用対策の強化など）」、「クレジットカードの不正使用に関する相談窓口の充実」を挙げた者の割合は30歳代から50歳代で、それぞれ高くなっている。（図7，表7）

図7 クレジットカードの安心・安全な利用のために力を入れてほしいこと

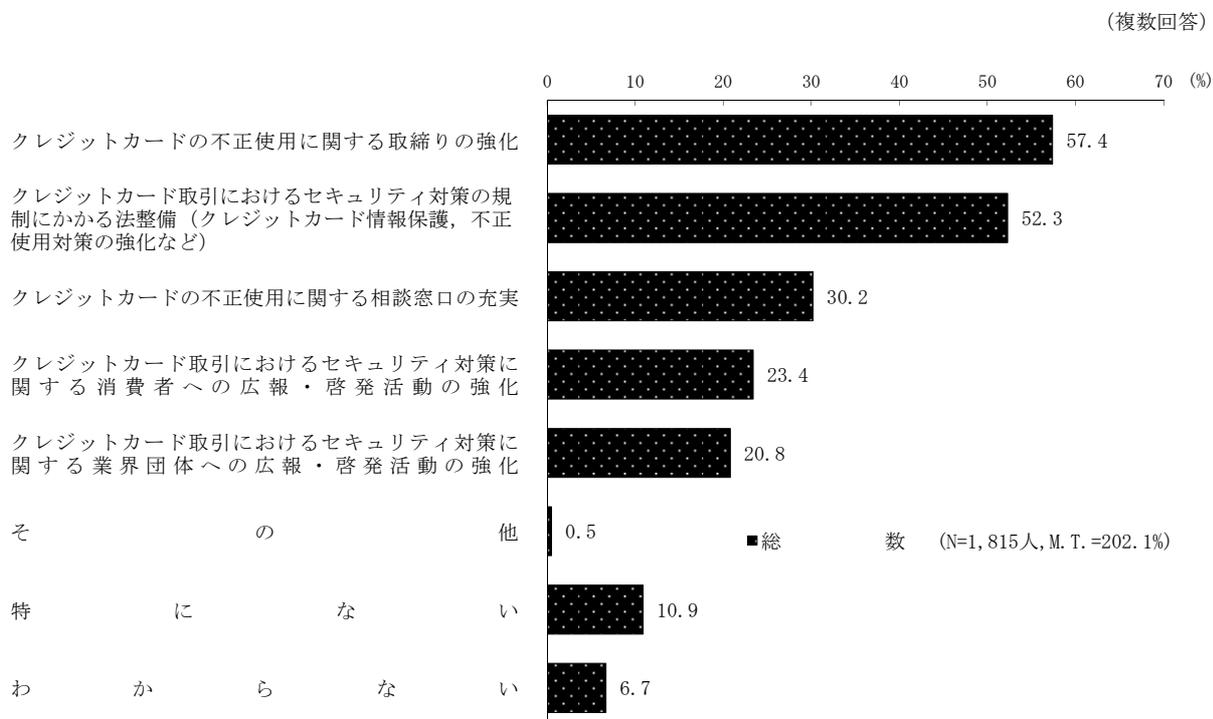


表7 クレジットカードの安心・安全な利用のために力を入れてほしいこと

(複数回答)

	該 当 者 数	り ク レ ジ ッ ト カ ー ド の 強 化	ど ト カ ー ド 情 報 保 護 、 不 正 使 用 対 策 の 強 化 な ど	ク レ ジ ッ ト カ ー ド 取 引 に お け る セ キ ュ リ テ ィ 対 策 の 規 制 に か か る 法 整 備 (ク レ ジ ッ ト カ ー ド の 充 実	窓 口 の 充 実	ク レ ジ ッ ト カ ー ド の 不 正 使 用 に 関 する 相 談	動 の 強 化	ク レ ジ ッ ト カ ー ド 取 引 に お け る セ キ ュ リ テ ィ 対 策 に 関 する 消 費 者 へ の 広 報 ・ 啓 発 活 動 の 強 化	活 動 の 強 化	ク レ ジ ッ ト カ ー ド 取 引 に お け る セ キ ュ リ テ ィ 対 策 に 関 する 業 界 団 体 へ の 広 報 ・ 啓 発	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	1,815	57.4	52.3	30.2	23.4	20.8	0.5	10.9	6.7	202.1					
大 都 市	484	59.1	55.6	33.3	25.2	20.7	0.6	9.7	4.3	208.5					
東 京 都 区 部	100	55.0	58.0	35.0	24.0	19.0	2.0	11.0	8.0	212.0					
政 令 指 定 都 市	384	60.2	54.9	32.8	25.5	21.1	0.3	9.4	3.4	207.6					
中 都 市	722	60.2	55.1	29.9	22.4	19.4	0.3	9.4	6.5	203.3					
小 都 市	433	50.6	45.7	27.3	22.9	24.9	0.2	15.5	9.2	196.3					
町 村	176	57.4	47.7	30.1	23.3	17.0	1.7	9.1	8.0	194.3					
〔 性 〕															
男 性	841	59.6	54.1	29.3	24.4	22.4	0.4	10.6	5.6	206.2					
女 性	974	55.4	50.7	31.0	22.5	19.5	0.6	11.2	7.7	198.7					
〔 年 齢 〕															
18 ～ 29 歳	174	66.7	57.5	29.3	25.3	17.2	-	3.4	1.7	201.1					
30 ～ 39 歳	219	76.7	64.4	37.0	25.1	22.4	-	0.9	0.5	226.9					
40 ～ 49 歳	289	67.8	69.2	35.3	30.4	23.2	0.3	2.8	1.7	230.8					
50 ～ 59 歳	283	70.3	68.6	41.3	33.2	29.0	-	3.2	1.4	247.0					
60 ～ 69 歳	398	52.0	47.5	28.4	21.1	21.9	1.0	12.1	5.8	189.7					
70 歳 以 上	452	34.3	27.7	18.6	13.1	13.9	0.9	27.7	19.0	155.1					
〔 従 業 上 の 地 位 〕															
雇 用 者	851	67.7	63.6	34.7	27.3	22.9	-	4.6	2.6	223.3					
自 営 業 主	160	56.9	47.5	26.3	25.0	21.9	0.6	13.1	6.3	197.5					
家 族 従 業 者	35	42.9	51.4	31.4	17.1	22.9	2.9	11.4	8.6	188.6					
無 職	769	46.7	40.8	26.0	19.0	18.2	0.9	17.4	11.3	180.4					
主 婦	402	49.0	42.3	27.6	19.2	18.2	1.2	15.4	10.0	182.8					
主 夫	17	64.7	52.9	29.4	11.8	17.6	-	11.8	5.9	194.1					
学 生	52	61.5	53.8	36.5	34.6	21.2	-	-	1.9	209.6					
そ の 他 の 無 職	298	39.9	35.9	21.8	16.4	17.8	0.7	23.5	15.1	171.1					
〔 職 業 〕															
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	442	71.9	69.7	33.3	30.8	25.1	0.5	3.2	0.9	235.3					
管 理 職	47	72.3	61.7	23.4	29.8	19.1	-	2.1	2.1	210.6					
専 門 ・ 技 術 職	169	68.6	71.6	36.7	34.3	29.6	0.6	4.1	1.2	246.7					
事 務 職	226	74.3	69.9	32.7	28.3	23.0	0.4	2.7	0.4	231.9					
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	296	64.5	59.5	38.5	25.7	23.3	-	4.1	2.7	218.2					
農 林 漁 業 職	51	47.1	47.1	27.5	19.6	13.7	-	15.7	13.7	184.3					
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	257	58.0	49.4	28.4	21.8	19.8	-	11.7	6.2	195.3					

クレジットカード取引の安心・安全に関する世論調査

平成 28 年 7 月

調査時期：平成 28 年 7 月 21 日から平成 28 年 7 月 31 日
 調査対象：全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
 有効回収数(率)：1,815 人 (60.5%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「クレジットカード取引の安心・安全」についてお聞きします。

(【資料 1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料 1】

本調査は、クレジットカード取引及びクレジットカード取引のセキュリティについての認識や理解度を把握し、消費者がクレジットカードを安心・安全に利用できる環境を整備することを目的としています。

1 クレジットカードの利用意向

Q1 【回答票 1】あなたは、クレジットカードを積極的に利用したいと思いますか。
 この中から 1 つだけお答えください。

(20.3)	(19.5)	(24.0)	(33.8)	(2.4)
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない

→ (Q2へ)

(Q1で「(ア) そう思う」, 「(イ) どちらかとい
 えばそう思う」と答えた方に)

SQ a 【回答票 2】あなたは、クレジットカードを
 どのような場面で利用したいと思いますか。
 この中からいくつでもあげてください。
 (M. A.)

(N=722)

- (62.9) (ア) 公共料金や税金, 通信料金などの
サービスの月々の支払い
- (72.6) (イ) 店舗での高額買い物やサービスの
利用
- (58.2) (ウ) インターネットを利用した買い物や
サービスの利用
- (24.0) (エ) 少額の支払いも含めた日々の生活費の
すべて
- (36.1) (オ) 臨時の出費や手持ちの現金が不足して
いる場合
- (0.6) その他 ()
- (0.6) 特にない
- (-) わからない

(M.T.=254.8)

(Q1で「(ウ) どちらかとい
 えばそう思わない」,
 「(エ) そう思わない」と答えた方に)

SQ b 【回答票 3】あなたがクレジットカードを
 積極的に利用したいと思わない理由は
 何ですか。この中からいくつでもあげて
 ください。(M. A.)

(N=1,050)

- (33.7) (ア) 予算以上の買い物をしてしまうから
- (27.3) (イ) 月々の利用金額が分からなくなって
しまうから
- (41.3) (ウ) クレジットカードの紛失・盗難により,
第三者に使用されるおそれがあるから
- (35.4) (エ) 個人情報などがクレジットカード会社
や利用した店舗などから漏えいし, 不
正利用されてしまう懸念があるから
- (55.4) (オ) 日々の生活においてクレジットカード
がなくても不便を感じないから
- (1.5) その他 ()
- (1.4) 特にない
- (0.5) わからない

(M.T.=196.7)

2 クレジットカードの安心・安全な利用

(全員の方に)

(【資料2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料2】

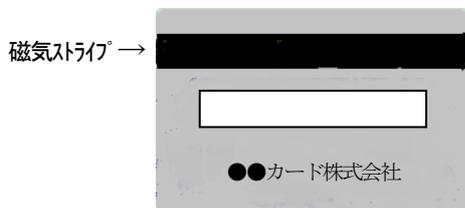
クレジットカードの取引には「ICカード」によるIC取引と「磁気カード」による磁気ストライプ取引があります。

磁気ストライプ取引は、「磁気ストライプ」に記録したカード情報を読み取り決済処理をする取引です。一方、IC取引は、「ICチップ」に暗号化して記録したカード情報を読み取り決済処理をする取引です。このため、磁気ストライプ取引のようにカード情報を盗み取るスキミング被害は発生しません。

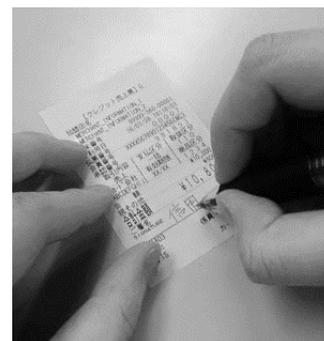
また、IC取引では、伝票への「サイン(署名)」にかわり、ご本人しか知らない4ケタの「暗証番号」を入力いただくことになります。

<磁気ストライプ取引>

<磁気カード>



+



<ICカード>



<IC取引>



+



出典：一般社団法人日本クレジット協会 (<http://www.j-credit.or.jp/security/ic.html>)

Q2【回答票4】あなたは、クレジットカードについて、磁気カード決済よりICカード決済の方が安全であることや、暗証番号の入力が安全であることを知っていましたか。この中から1つだけお答えください。

(37.2) (ア) いずれも知っていた

(8.3) (イ) ICカード決済がより安全であることは知っていたが、暗証番号の入力が安全であることは知らなかった

(7.2) (ウ) ICカード決済がより安全であることは知らなかったが、暗証番号の入力が安全であることは知っていた

(44.5) (エ) いずれも知らなかった

(2.9) わからない

(【資料3】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料3】

クレジットカード利用者がインターネット上で買い物などをする際、クレジットカード番号などの入力に加えて、事前にクレジットカード会社のホームページ上で登録したID・パスワードを入力することにより本人認証などを行い、「なりすまし」などの不正取引を防ぐことができます。

Q3 あなたは、インターネットで買い物をする際のセキュリティ対策として、個人用IDやパスワードを入力する方法があることを知っていましたか、それとも知りませんでしたか。

- (59.4) 知っていた
- (35.2) 知らなかった
- (5.4) わからない

Q4 【回答票5】あなたは、インターネットで買い物をする際に、クレジットカード番号や有効期限の入力に加えて、個人用IDやパスワードの入力を求められた場合、どのように対応すると思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (25.8) (ア) セキュリティ対策のため必要な入力であるため、入力する
- (16.0) (イ) 面倒に感じるが、入力する
- (2.7) (ウ) 面倒なので、入力不要なお店で買い物をする
- (10.4) (エ) クレジットカード以外の支払方法を選んで買い物をする
- (35.9) (オ) インターネットで買物をしない
- (0.3) その他 ()
- (3.1) 特にない
- (5.9) わからない

3 クレジットカードの安心・安全な利用のために力を入れてほしいこと

Q5 【回答票6】あなたは、クレジットカードの安心・安全な利用のために、政府に今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (52.3) (ア) クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の規制にかかる法整備
(クレジットカード情報保護、不正使用対策の強化など)
- (57.4) (イ) クレジットカードの不正使用に関する取締りの強化
- (23.4) (ウ) クレジットカード取引におけるセキュリティ対策に関する消費者への広報・啓発活動の強化
- (20.8) (エ) クレジットカード取引におけるセキュリティ対策に関する業界団体への広報・啓発活動の強化
- (30.2) (オ) クレジットカードの不正使用に関する相談窓口の充実
- (0.5) その他 ()
- (10.9) 特にない
- (6.7) わからない (M.T.=202.1)